

必ずお目通してください！

攪拌剥離方式専用ステンレスブラシ

a-ZAK

シンプル
スマート
スピーディー
ロウコスト

この度は当製品をお求めいただきまして誠にありがとうございます。

下記のご使用上の注意をお読みいただき正しく末永くお使いいただきますよう
よろしくお願い申し上げます。

<使用上のご注意>

1. お子様の手の届かないところに保管してください。
2. 使用においてはゴム手袋など着用してください
3. 装着時は床に置いてポリッシャーをかぶして取り付けてください。
4. 外す時はクラッチにマイナスドライバーをあてて外してください。
5. 装着したままポリッシャーキャリアを使用して移動する際の注意
イノバーターの場合：キャリアの位置が高く操作ハンドルを下げると車軸が ZAK に集中し、
ステンレスブラシそのものをつぶしかねません。お手数ですがヘッドをなるべく持ち上げてキャリア
を床面に着いた事を確認して移動してください。

攪拌剥離を使いこなすために

* ワックス塗膜面に剥離を塗布したら、少なくとも 30 分以上浸けおきを維持し溶解反応時間を確保
してください。その間床面に散水などの手を加えないでください。

* 剥離剤の塗布は、レベリングが維持できるよう満遍なく塗り広げてください。溶解反応をディソリュ
ションと言います。この間は剥離の継ぎ足しも行いません。

* 30 分後、広い範囲で剥離塗膜が乾く前に ZAK 装着のタンクインで給水しながら少しづつ丁寧に
攪拌ポリッシングしてください。ZAK を回せば回すほど乳化が促進し、初めに塗り広げた剥離剤の剥
離力が失われるまで塗膜が攪拌され完全に乳化していきます。汚水は驚くほどサラサラで回収にたやす
く作業性が非常に楽になります。

* ZAK は削る力は一切ありませんのでポリッシャーを傾けてエッジを立てたりしないでください。線端部
を傷めます。

* 溶解反応の時間をとり、剥離剤を塗った床面の乾きが気になるときは、剥離剤を塗りたさず、タンク
インの水をポリッシャーで大まかに撒きながら回してください。それだけでも攪拌が促されます。剥離の
塗りたしは余分な経費ですから攪拌に時間をかけることを惜しまず作業してください。

*** 剥離剤を追加するときは、初めの剥離溶解分を完全にバキューム除去してから判断してください。**残膜は決して剥離剤が弱いのではなく、塗布した量が保有する溶解エネルギーが作業者の手によって決められる希釈率によるからです。剥離剤の原液使用はお勧めしません。溶解したものを水に結びつける機会を失い、飽和してほとんど溶解反応が止まってしまうのでお気を付けてください。適切にご使用いただければビルドアップしたような塗膜面はほとんど 2 サイクルで剥離作業を終えます。剥離剤の浸透力は塗膜の厚みにより限界があります。**強い剥離だからといって何層も階層を突き破ることはありません。浸透圧は塗膜圧に左右されるためです。**その塗膜をいち早く破碎し溶解を促すために ZAK により攪拌をおこないます。

*** 予備洗浄をお勧めします。剥離作業の前に水やアルカリイオン水などでポリッシングするとサンディングが高まりより一層剥離溶剤の浸透を高めてくれます。**洗剤や剥離剤で軟化した塗膜には切り裂き、水などの塗膜が軟化しない場合は研削反応が起こります。軟性には追従、硬性には反発という独特の端点運動がもたらす効果です。

*** デイソリユーションの時間と攪拌ポリッシングの時間。この二つに時間を注ぎ込むことで通常の難作業のイメージをガラリと変えてくれるでしょう。**少なくともデイソリユーションの時間は作業することがありません。また、攪拌ポリッシングは、ポリッシャーに一人、汚水回収に一人の 2 名だけで 3 人目はほとんど作業人員としては役割がありません。乳化が進んだ汚水は十分な水分をその泡の中に一体化させているため乾くのに大変な時間がかかります。従って焦って汚水回収に先走る必要がありません。仮に乾いたとしても水だけで攪拌し、再び乳化状態に戻します。つまり剥離の失敗はありません。また汚水は乳化作用により微泡沫できめ細かな泡上になっているため流れ込みが非常に少なく、使用後の道具洗いにはこれまでにない洗い上がりで最後まで作業を簡便にしてくれます。

これまでの感覚を脱ぎ捨て、剥離を従来の 2 倍薄くして初めて見てください。

*** リンス作業にも ZAK を使用出来ます。**不織布パッドに置き換えると緑程度の粒度に満たないものですから床面に対するダメージがありません。ただし床材によっては例外もありますから適宜判断してください。

*** 通常のワックス洗浄にも使用できます。**上記の通り緑パッドに満たないですが、追従性に優れるためこれまでにない滑らかな洗い上がりを実現します。減膜を求めるときなど特に活用できます。不織布のように凸部だけクリアになり凹部の塗膜は減膜できない平滑洗浄の欠点はありません。全体表面に做って安定した減膜と、ワックス塗布時には非常に高い写像性を引き出します。

詳細につきましてはご遠慮なくお問い合わせください。

(有)クオリティ

Q-Patt 事業部 0561-72-5303

www.quality-ism.com